

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 301号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 事務局 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『恵友会視察旅行』



多布施三丁目
石丸幸子

去る、六月八日(水)、そろそろ梅雨入りか、と思われるのに青空が広がった爽やかな日に、めぐみ園の利用者・職員、保護者、ボランティア総勢十六名で、福岡県南区にある児童発達支援センター「しいのみ学園」を訪ねました。門を入ると、若い職員の方から「おはようございます」と元気に挨拶をしてもらい、気持ちの良い朝の出会いからのスタートとなりました。

「しいのみ学園」は、昭和二十九年四月に、児童施設として設立され、創立者の昇地三郎氏(故人)は、全国的にも有名な先生で、一〇七年の生涯を終える時まで、頭の回転の柔らかさ、テレビや雑誌でも豊かな表情を見せられる、チャームिंगなお人柄だったようです。また、めぐみ厚生センター創立者の栗林ご夫妻(故人)とも親交が深く、同じ九州の土地で、生涯を持つ子供や孫を支えていく者同士、交流をされていたと伺っています。めぐみ園で旧園舎時代に食事の合図として使用していた鐘は、昇地先生の贈り物でした。学園内で、高井園長先生や松尾先生から、しいのみ学園の成り立ちや運営方針などの説明があり、通園

施設の大変さと、『古き良き時代の変わらないもの』を継承されている凄みを感じました。



園庭では、三、四才位の幼児が駆けっこをしており、思わず「元気ね、頑張つて！」と、声をかけたくなりました。発達に沿った教育が行なわれており、保護者は帰宅した我が子を見て、安心されるのではないでしょう。

室内では、年齢も少し上のクラスが教室の椅子に座り、順番にボールを動かしていました。上手く出来れば、先生や子供たち全員で手を叩いて喜び合い、一人ひとりが自分で考えながらボールを転がすことに集中していました。一段ずつ上に登る、我慢の出来る人に育つでしょう。沢山の宝物を磨き、人のためにも役立つ大人になれるでしょう。

見学を終え帰る頃は、年長クラスの子供たちが園庭でリレーで走っています。先生も一緒です。思わず、「フレー！フレー！」と応援をしていました。温かい教育の場と、子どもたちが主役の園の在り方。バスの中でも、心地よい記憶が蘇り、子供達の笑顔や、先生方の情熱の余韻に酔いしれた二時間となりました。帰りに寄った店では、大阪の中学生の修学旅行の生徒さんたちと、昼食や買い物と一緒に、若いパワーに圧倒されましたが、私たちも負けてはいません。沢山のお土産を手を持ち、佐賀の帰路につきました。



今日出会った、「しいのみ学園」の子どもたち、「めぐみ園」の人たちも幸せであつてほしいと願っています。

良い一日を有難うございました。





今年度総会の様子



◇お知らせ◇
 ※恵友会の会費は年間二千円です。
 ※会の活動や会報も、めぐみ厚生センターのホームページで閲覧可能です。

◎会費納入

ありがとうございました。

平成 八年六月二十日現在

(敬称略)

- 江崎千栄子、岡梅子、中村昌平
- めぐみ園家族会一同、福島龍一
- 小野原誠、吉村信吾、斉藤明正
- 園田健介、市丸眞子、諫山眞司
- 白浜みゆき、堤宏隆、栗林聖子
- ながせ皮膚科、池田醤油
- 本吉ミヨ子、重松正己
- 進藤正幸、小田健輔
- 富士学園家族会・職員一同
- ピースハイム職員一同

◎寄付

ありがとうございました。

平成 八年六月二十日現在

(敬称略)

- 吉村信吾、斉藤明正
- 新栄ボランティア
- ながせ皮膚科



◇第十八回

恵友会 総会◇

去る、平成二八年五月十三日(金)、めぐみ園本部にて、二年毎に開催している恵友会総会が開催されました。まず、副島会長の「役員一丸となつて会を盛り上げ、意味ある会として気持ちを引き締めましょう！」の挨拶の後、めぐみ厚生センター栗林理事長から、センターの後援会として、協力を頂いていることへの御礼の言葉がありました。また、千葉から駆けつけて頂いた鳴原顧問からは、会員の高齢化についての助言を受け、新規会員の勧誘意識も新たにまりました。議長として、めぐみ園・森永施設長が選任され、役員十名中九名出席・会員七名・顧問一名の参加で総会は成立し、議題に沿って進行しました。まず、平成二六年・二七年度の事業報告と会計決算報告があり承認され、今村・石丸監事から会計は適正である



恵友会 趣旨

【趣旨】

恵友会は、後述の会則に掲げる目標をもって昭和56年、後援会として発足しめぐみ厚生センターの創立者の意を受け継ぐために、そして現代が求める開かれた施設、地域に密着した施設づくりに目を向け、めぐみ厚生センターをサポートします。

【会則】(抜粋)

[第3条]

本会は社会福祉法人めぐみ厚生センターの事業に賛同し、その運営、発展及び、利用者の福祉向上を援助することを目的とする。

[第4条]

本会は前条の掲げる目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1、利用者との心のふれあい活動
- 2、めぐみ厚生センターに属する施設に於ける奉仕活動
- 3、めぐみ厚生センターの運営並びに施設設備に対する経済活動的援助
- 4、その他、本会の目的達成に必要な事業

[第5条]

本会の会員は、知的障害児者を正しく理解し本会の目的に賛同する者をもって構成する。

と報告。次に、平成二八年度・二九年度の予算案と事業計画が伝えられ、隔月の会報誌発行の他、年一回の視察研修・ふれあいの広場開催と共に、各園での行事参加等の予定が承認された。役員選出では、現役員の再選となり、役員挨拶の後、総会終了となりました。

◆役員紹介◆ (敬称略)

平成二八年度・二九年度

顧問	鳴原貞雄	幹事	今村宏	幹事	石丸幸子	幹事	永松亀一	幹事	山崎圭子	幹事	山口貞雄	幹事	松浦善人	幹事	堤宏隆	副会長	福島龍一	会長	江崎千栄子	副会長	副島勉
----	------	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	-----	------	----	-------	-----	-----

ふれあいの広場実行委員会

今年で32回目となる「ふれあいの広場」を下記日程で開催致します。詳細は9月号にてお知らせします。

日時 2016年7月6日(水) 14:00~
 場所 佐賀県総合福祉センター

編集後記
 夏が来ます！
 オリジナルピックが来ます！
 長雨の続く毎日ですが、この時期を過ぎれば各種記録更新の瞬間がみれるかもしれませんね。さしずめ、この号が出る頃の参員選の結果は、一八才若い世代は政治に何を求めるのでしょうか？

(編集局)